

地域政策課から、12月までの地域コミュニティ組織の活動状況を紹介します。

1 ページ

二川地区

11月22日 ちゅうりっぷの会サポーター交流会

二川地区まちづくり推進委員会の健康・福祉分科会では、「ちゅうりっぷの会」という名称で、草むしりやごみ出しなどの生活支援サービスを提供しています。交流会では、登録サポーターを招き、活動体験（草むしり）や運用上の課題に関する意見交換を行いました。また、作業依頼手続きの効率化や利用者サービスの向上を図るため、グループLINEの登録を行いました。



大窪地区

11月22日 おおくぼ村祭り

大窪地区まちづくり実行委員会の地域振興分科会では、「おおくぼ村祭り」を開催し、地域の多世代交流を図りました。「おおくぼ村祭り」は、これまで大窪小PTAが主催してきましたが、PTAの担い手不足などを背景に、まちづくり実行委員会で地域振興分科会を設立し、事業を継承しました。

当日は24店舗が出店し、地域の子どもたちを始め多数の方が参加し、地域の交流が深まる楽しいひとときとなりました。



新玉地区

11月22日 音読会

新玉地区まちづくり委員会が今年度から始めた多世代間交流広場の取り組みとして、第2回音読会が新玉小学校浜の風で開催されました。小学生3名と大人5名が参加し、「声の万華鏡実行委員会」の進行で、発声練習や手遊びを楽しみました。クイズコーナーでは、子どもたちが積極的に発言し、大人たちはその様子を温かく見守りました。また、狂言紙芝居「かたつむり」や落語「時そば」が披露され、参加者は本格的な表現力に触れ、熱心に聞き入っていました。



上府中地区

11月23日 上府中ミニコンサート

上府中地区まちづくり委員会で、「上府中ミニコンサート」を開催しました。今回で4回目となりますが、上府中地区にお住いの方を中心に行なった16組の出演者の方が集まりました。会場の蓮華寺本堂が華やかなコンサートホールになりました。当日は多くのスタッフの協力で運営されており、軽食も振舞われ、来場者はとても楽しんでいました。



酒匂・小八幡地区

11月23日 酒匂ゆりかご祭り



児童養護施設ゆりかご園で「酒匂ゆりかご祭り」が開催され、酒匂・小八幡地区まちづくり委員会からは、防災分科会と多世代交流分科会の2分科会がブース出展しました。

防災分科会では、消火器型水鉄砲を使った消火体験と非常食の試食を、多世代交流分科会では、ダンボール空気砲や風船を使った多様な遊びを提供しました。

ゆりかご園の関係者や地域住民など、子どもからお年寄りまで多くの人で賑わい、多世代交流を通じて防災啓発や地域のつながり創出を図りました。



幸地区

11月29日 健康教室

幸地区まちづくり委員会の健康福祉・生活環境美化部会では、毎年11月に間中病院のご協力のもと「健康教室」を開催しており、スタッフを含めて計29人が参加しました。

今年は、言語聴覚士と作業療法士をお招きし、「嚥下機能の維持・向上」をテーマに、嚥下動作のメカニズムを学ぶとともに、飲み込む力（ごっくん力）のチェックテストやUP体操、ストロートレーニングなどを実施し、健康増進を図りました。



曾我地区

11月29日 曾我っ子フェスティバル

曾我地区まちづくり委員会では、地域の子供たちが楽しむイベントが少なくなってきたことから、曾我小PTA主催の「曾我っ子フェスティバル」でブースを出店しました。マス100匹を簡易的な生け簀(ビニールプール)に放ち、釣竿を使った釣り体験ができるブースを出店し、マスがなかなか釣れない時間帯もありましたが、子供たちからは大好評でした。



前羽地区

11月29日 前羽小学校何でもやったあ祭

前羽小学校PTAバザー「何でもやったあ祭」に、前羽まちづくり委員会が交通安全クイズのブースを出店しました。来校した幼稚園生から中学生までの子ども33人が交通ルールの○×や、周辺視野を鍛えるクイズに取り組み、解き終わった後は小田原市地域安全課による解説が行われました。また、ブースに来てくれた子どもには、交通安全啓発グッズが配布されました。



下中地区

11月29日 みんなde草木染め体験

下中地区まちづくり委員会の文化・教育分科会では、下中たまねぎの皮を使った草木染め体験を行いました。これまで単独でイベントを開催していましたが、昨年度から下中小学校で毎年開催される「うっしつしまつり」への出展に変更したところ、その集客効果で参加者がなんと倍増。今年度は3回のローテーションを組んで行い、染め上がりは上々。同時開催した「割れないシャボン玉作り」も好評でした。



国府津地区

11月30日 みかんの花咲く丘コンサート

国府津地区まちづくり推進委員会では、「みかんの花咲く丘コンサート」を開催しました。当日は、国府津保育園、石塚保育園の園児、国府津小学校児童合唱団による合唱と国府津学校前囃子保存会の演奏が行われました。たくさんの方の来場もあり、とても盛り上りました。



国府津地区

11月30日 親子でプラネタリウム

国府津11区と国府津15区の合同で「地域活動いきいき補助金」を使って、「親子でプラネタリウム」というイベントを行いました。国府津中学校の体育館のステージにドーム型プラネタリウムを設置して行いました。当日は、消防団の積載車の展示、救急救命講習や防火服を着る体験、地区的役員さんによるお菓子釣りや軽スポーツのブースも行い、来場者はとても楽しんでいました。



上府中地区

12月3日 農業指導プロジェクト活動報告

上府中地区まちづくり委員会の農業指導プロジェクトのメンバーが、市長へ活動報告を行いました。千代中学校と連携しながら、6月の田植えから始まり、7月と9月のヒエ取り、10月の稲刈りなど、当日の活動写真を見せながら説明しました。また、千代中学校1年生の代表2名が、収穫されたはるみ米を贈呈しました。来年度の活動も楽しみです。



片浦地区

12月4日 全体会



片浦地区まちづくり委員会では、4分科会（地域振興・文化教育・福祉健康・防災）の活動状況を共有するため、全体会を毎年開催しています。片浦地区の特色を生かした様々な活動として、高齢者等の買い物支援を行う「おでかけサポート」の取組や、地域の文化や伝統などがぎゅっと詰まった作品「片浦かるた」のPRなどについて報告がありました。また、「Workcation House U」でのイベントや、江之浦地区でしばらく活動休止していた「鹿島踊りの復活に向けた動き」についてのお話もあり、片浦地区の魅力を再認識する機会となりました。



大窪地区

12月6日 健康ウォーキング

大窪地区まちづくり実行委員会の健康・福祉分科会では、健康おだわら普及員との共催で、「健康ウォーキング」を開催し、スタッフも含め、約30名が参加しました。

今回は、箱根板橋駅から出発し、小田原城天守閣までを巡るコースで、NPO法人小田原ガイド協会による案内ののもと、小田原の歴史に触れながら、多世代交流と健康増進を図りました。



豊川地区

12月6日 桑原・富士見地区サロン会

豊川地区まちづくり委員会の第1分科会では、今年度も地区内の各公民館でサロン会を開催しています。今回、桑原・富士見地区のサロン会を桑原公民館で実施し、役員含め約40名の地域住民が集まり、3グループに分かれた対抗戦で楽しい時間を過ごしました。

参加者は、最初に新聞紙で作った棒で体操を行い、その後、紙コップを使用したリレーや釣り、的当て、射的、タワーなどのゲームで健康的に身体を動かしました。



新玉地区

12月6日 ペットと防災

新玉地区まちづくり委員会防災分科会と飼い主の会が中心となり、ペットとの同室避難に向けた訓練とセミナーが実施され、飼い主13名、ペット8頭が参加しました。訓練に参加した獣医師、公認訓練士からはケージに慣れさせる訓練や日常的な感染対策などの大切さについて話があり、参加者は改めて受け入れ対応や避難時の注意点を確認しました。



酒匂・小八幡地区

12月6日 健康寄り道ウォーキング

酒匂・小八幡地区まちづくり委員会の福祉・健康分科会では、健康おだわら普及員との共催で、健康寄り道ウォーキングを開催し、スタッフを含めて計15名が参加しました。

NPO法人小田原ガイド協会による案内のもと、小田原駅から小田原漁港までの約3kmのコースを散策し、道中ではチンチン電車や旧松本剛吉別邸、デザインマンホールなど、小田原の歴史や観光資源にも触れながら、健康増進を図りました。



富水地区

12月7日 まちづくり芸能祭

富水地区まちづくり委員会の地域振興・環境美化分科会では、タウンセンターいすみで「まちづくり芸能祭」を開催しました（参加者58名）。アマチュア落語家の気楽亭小生さんから「狸賽」、南遊亭若乱さんから「阿武松」、の二つの古典落語を披露していただいたほか、ウクレレ奏者の太田喜寿さん、廣田美和子さんの伴奏で、「思い出の渚」、「旅人」、「木綿のハンカチーフ」等を会場の観客一同で合唱し、楽しいひと時を過ごしました。



国府津地区

12月8日 サロン国府津 クリスマスコンサート

国府津地区まちづくり推進委員会では、サロン活動を活発に行ってています。今月は、クリスマスコンサートを行いました。クラシックの名曲をピアノの生演奏で楽しみました。また、オペラ歌手の歌も聞くことができ、この時期らしいイベントで、参加者の笑顔で溢れました。



二川地区

12月10日 めぞん足柄（クリスマスビンゴ大会）

二川地区まちづくり推進委員会の地域振興分科会では、子どもの居場所づくりや世代間交流の促進を目的として「めぞん足柄」を運営しています。毎年クリスマスにはビンゴ大会を開催しており、今年度多くの子どもたち（112名）が井細田公民館に集まりました。当日は、地元商店会等の協力により、たくさんの景品が用意され、子どもたちの歓声や喜ぶ姿が溢れました。



新玉地区

12月11日 よってこ新玉

新玉地区まちづくり委員会福祉・健康分科会主催のよってこ新玉では、クリスマス会が開催され、40名以上の参加者が新宿公民館に集まりました。ゲストの酒匂ジョイフルクワイアによる素敵なゴスペルに、参加者たちは一緒に歌ったり手拍子をしたりしてクリスマスを楽しみました。講演後にはサンタクロースが現れ、ゲストや参加者にお菓子のプレゼントが配されました。



富水地区

12月13日 しめ飾りワークショップ

富水地区まちづくり委員会の子どもサポート分科会では、富水小学校3階ホールで「しめ縄飾りづくりワークショップ」を開催しました（参加12組30名）。指導者に教わりながら、親子で協力して悪戦苦闘しつつも稻わらを編むなどしてしめ縄本体を作った後、エビ、紅白の四手、水引、末広の扇、などの飾り物や差し物を付け加え、立派なしめ縄飾りが完成。来年のお正月は、各ご家庭の玄関をこの手作りのしめ縄飾りが彩ることでしょう。



今月はこの活動にクローズアップ！

富士見地区

「地域の方々と防災について考えよう！」

富士見地区まちづくり委員会 防災分科会

1/3



富士見地区まちづくり委員会防災分科会では、委員の情報共有のため、月1回のペースで分科会を開催しています。活動は、防災講演会の実施、地域回覧する「防災分科会たより」、いっせい防災訓練の内容の検討のほか、今年度から地区防災計画の策定に取り組んでいます。

今回は、富士見小学校で行われた4年生の授業の概要を紹介します。

今回の開催にあたり、学校の先生が社会科の授業で地域の防災について調べていく過程で、以前から担任の先生から相談を受けており、説明に数回行ったり、先生が富士見地区的防災講演会を聴講したりしていました。そのような関係性があり、授業の時間を使って、地区防災に関する話を平川分科会長が行いました。



当日の様子



積極的に参加する児童の様子

当日は4年生65人を対象に行われ、質問やワークを交えながら富士見地区的防災リスクや防災活動についてのお話で、児童たちも積極的に参加していました。

※次ページ以降に当日話した内容を記載しています。

次頁に続く

「地域の方々と防災について考えよう！」

富士見地区まちづくり委員会 防災分科会

2/3

I ①災害ってなに？ 被害ってなに？ 防災ってなに？ 減災ってなに？

災害とは、人や物が何らかの原因で被害を受け、それを防ぐ防災や、より被害を小さくしようとする減災について再確認しました。

I ②富士見で起きる可能性が大きくて、起きたら大変なことになる災害って何だろう？

暴風、土砂崩れ、洪水（浸水）、高潮、地震、津波、噴火、豪雪、等の災害から、富士見小学校区でリスクの高い災害を話合い、地震と洪水（浸水）に絞りました。

I ③学校の行き帰り道で地震が起きたら！台風が来ていたら！何が危ない？

二つの状況についてワークシートに、地震で、落ちてくるもの！倒れてくるもの！動いてくるもの！、台風で危ないところ！、なぜ危ない？を書いてもらい話し合いました。地震で自動販売機が出てこず、みんなでどうかと再認識していました。

I ④地域の人とつながろう！

災害が起きた時はどこも大変な状況になる。すぐに助けや自衛隊が来ないかもしれません。そんな時たよりになるのは近くに住む地域の人たちです。



I ⑤自主防災組織について

災害が起きた時自分たちのまちは自分たちで守る。一人でも多くの人の命と安全をまもる。火事などの災害の広がりをおさえる。避難生活の中心となって地域を支えるのが、自主防災組織。例として、富士見小学校広域避難所運営組織と、各自治会防災組織とその活動として、平常時の活動として「防災訓練」「防災講演会」「地区防災計画」、災害時の活動として被災者救助、広域避難所の運営についてお話をしました。



⑥災害発生時みんなができること 避難所でみんなができること

最後に、みんなができることを話し合いました

災害発生時 みんなができること

- ・マスクをして咳エチケット、こまめな手洗い、うがいの徹底
 - ・地域の人・ボランティアの人に元気に挨拶する
 - ・自分より小さい子供の世話をする
 - ・近所の高齢者の方の洗濯、掃除、自治会との連絡を手伝う
 - ・ゴミの分別・整理整頓を手伝う

避難所でみんなができること

- ・避難所では、大きな声を出したり走りまわったりしない
 - ・避難所では、ルールを守る。ほかの人のスペースに入らない
 - ・給水車の到着・救援物資の配給が始まることを知らせて回る
 - ・トイレはよごさない。避難所の掃除も手伝って清潔に保つ
 - ・必要な水や食料を運んだり、炊き出しを手伝う
 - ・ペットの散歩を代わりにやる



⑦一番大切なことは 自分の命は自分で守ること いざという時に備えておくこと どうすれば身を守れるか 自分や家族で考え行動しましょう

防災分科会作成の回覧物